

エレベーター設置までの経緯

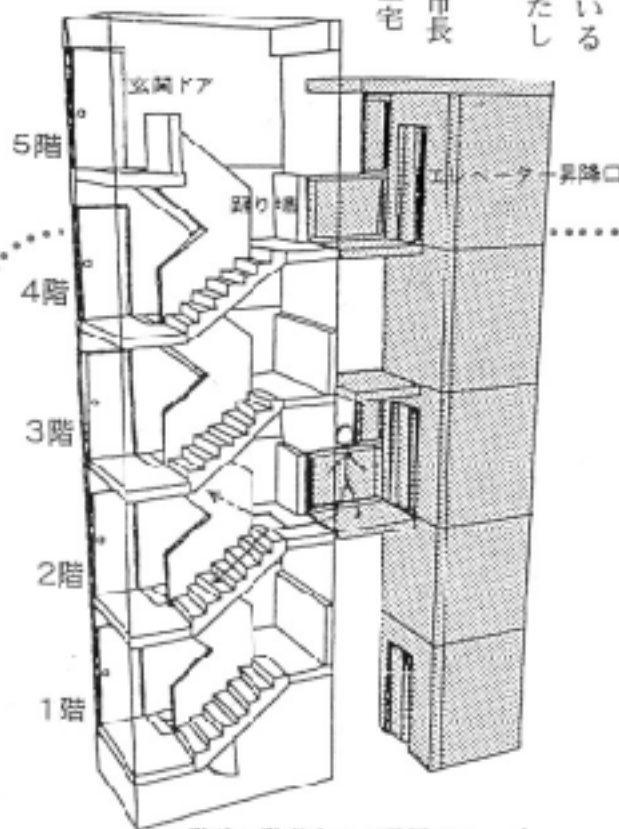
平成11年、公営住宅のバリアフリー化を推進する公明党は、エレベーター設置等住環境の改善を求める署名活動を展開。12年度には、早速、国の予算に計上され自治体に補助金を出すことが決まりました。横浜市としても、12年度予算で上飯田住宅の住戸改善の設計費が計上されました。地元の上飯田団地連合自治会では、11年、住宅の修繕を求める要望書を、市建築局に提出。げんなみ正保市議は、要望を推進するために積極的に取り組んでまいりました。

げんなみ正保市議ら公明党議員団は、市当局に早期実現を議会で要望してきました。

更に、12年11月、連合自治会は、エレベーター設置等バリアフリー化を求める署名活動を展開。げんなみ正保市議は小川連合自治会長とともに、市建築局長に1128名の署名簿を提出しました。

その後、同12年12月の定例議会一般質問で、エレベーター設置に関するげんなみ正保市議質問に対し、高秀市長は、「入居者の意向を調査し、設置・管理にかかるコスト、技術的な課題などを踏まえ、その必要性について検討を進めているところですよ」と答弁いたしました。

そして、4月9日、市長より正式に、上飯田住宅の住戸改善事業において、今年度工事分6棟の内5棟にエレベーターを取り付けることを発表。階段室型としては、政令市で初めての実施となります。



5階建て階段室への設置イメージ



当時の中山建設大臣に署名簿を提出



署名運動の展開